

---

# 閑話及第点

童君

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

閑話及第点

### 【Nコード】

N16590

### 【作者名】

童君

### 【あらすじ】

エッセイ？コラム？珍文？奇文？ジャンル分けは致しかねますが、元々日記で書いていた程度の物、お昼休みの「気軽な着休め」「一人で寂しくご飯を食べる時の暇つぶし」程度に楽しんでいただければ幸いです。このサイト初心者なもので、こういう物を発表しているのかもよくわかりません。ダメなら消しましょう。だからとりあえず発表するだけです！これを読んで面白いと思ってくれた人が、「なんだこいつ小説も書いてんのかよ？どれちょっと冷やかしがてらそっちも読んでみてやるか。」となれば、こっちとして

は「しめしめ（笑）」と言った打算のもとに成り立っています。もともとは日記なので横書きで読まれる事を想定して書いてあります。なので、横書きで読んでいただければと思います。「（笑）」みたいな小説では使わない表現も多々出てきます。そんなあなたのお口の恋人、クスリと笑えばそれが薬に！『閑話及第点』です。よろしくおねがいします。基本的に日記を書いてた当時の話なので「昨日」とか「明日」とか季節の事とかを気にしないでください。

## 感動した話

オレは感動したんだ！24時間テレビで障害者が水泳をするとかそんなレベルの話ではないのだ！  
かなりのファインプレーを見たんだ！  
それもブックワンでさ。

レジに一人のオバハンがやってきた、  
店員さんに聞いた、

「DSのマルチバスケってある？」

・・・最近はあるゲームがあるんだなと堂君思ったよ。

次の店員さんの一言がファインプレー！

「マリオバスケですか？」

オバハン「ああそれそれ」

ヤベエー！！！この店員さんマジレベルたけえよ！

しかし、それよりレベル高いのがオバハンさ。

何だったって、

そのオバハンメモ用紙見ながら聞いてんだもん！

メモした時点で間違えてんだもん！

マジハンパねえよ！！！！

しかも、その後中古と新品があつてどっちがいいか聞かれたときに、  
おそらくオバハンに買ってきてと頼んだ息子らしき人に電話で確認

してただけ、

「今、TUTAYAさんにいるんだけど、うんTUTAYAさん。」

・・・

・・・

?!!???!?!?

最初に言ったとおりここは  
ブックワンだ!!!

店員さんも呆れ顔で隣の店員さんのほう見てたよ。

・・・わかるよ店員さん!

その気持ちわかるよ!!!

ホントはそのオバハンに突っ込みいれたいんだろ?  
でもお客にそれはできないからつらいんだよな?

オレはわかってるZE!

オレはあなたの味方さ!

だから頑張れ店員さん!

あなたは今日のMVPだよ!

あなたのあげた1点はただの1点じゃねえよ!

試合の流れを左右する価値あるいつてんだよ!

マジ感動だよね？  
マジファインプレーだよね？

…恐怖

基本的に童君はビビり屋さんですからね。

色んなものにビビりながら毎日を生きているわけです。

幽霊？

まあいれば怖いんでしょうけど、

見たことないですからね。なんとも・・・。

むしろ怖い話とかは好きなくらいですからね。

そういう類ではございません。

ビビりの童君は

あまり人が怖がらないものに

ビビりながら暮らしています。

3つほど紹介したいと思います。

1：ペットボトルのコーラ

あれは開けるときたまに

パンっ!!!!!!!!!!

ってなんか破裂したような音がすることがあります。

毎回ビクビクしながら開けています。

たいていの場合には普通に

シュツ・・・

って感じで開くからいいんですが、

やっぱりね・・・

たまにさ・・・

なるわけさ・・・

パンっ！！！！！！

ってさ

表情とか仕草には出さないけど、

内心

「ウオオオツウイ！！！！！」

って感じですよ。

でもコーラ大好き！！！！

2：自動改札機  
あれはさ、

定期とかいれる時

凄い勢いで吸い込まれるんだよね・・・。

なんか下手したら腕ごと持っていかれそうなの・・・。

そこまでいなくても

爪ぐらいは削られてしまいそうなの・・・。

そんな恐怖が・・・。

ここまで想像してんのは  
童君ぐらいのもんですよ。

友達は誰一人共感してくれないっ！！！！  
(当たり前か?)

定期とかはまだ大きいからいいけど、

切符だと怖さ倍増・・・！

3：無限

よく未来は無限に続いてるんだとか言われますよね。

それはその通りなんだろうなあと思います。

無限っていうものは誰も確認できないし、  
だからこそ無限なんでしょう。

んで、

結構忘れられてるのが、

『過去も無限』

って事なんだよね。

未来が想像もつかないほどの未来まで続いているように

過去も想像出来ないくらい続いているんですよ。

人類が生まれる前もあっただろうし、

生命が生まれる前もあつただろうし、

地球が生まれる前もあつただろうし、

太陽系が生まれる前もあつただろうし、

この宇宙が生まれる前もあつたでしょう。

もつと言つなら、

この宇宙の前の宇宙があつたかもしれない。

その宇宙では、

今では考えられないような

スターウォーズ的な世界があつたかもしれない。

そしてそれが生まれる前も必ずあつたわけです。

想像がつきません。

この想像もつかない

「無限」

にロマンを感じると共に、

「把握しきれない」

ということの恐怖を感じてしまいます。

これは恐怖とは違うかもしれませんが、

なにか言葉に出来ない

不安

みたいなものが童君の中にあるのは確実です。

「あれっ？なんか違う……。昨日LoFtがアミューズメントパークだと言ってた人と同一人物とは思えない！」（日記を書いていた時の「昨日」です）

とか思ったたろう!?

残念ながら同一人物です。

童君はちゃんとこういう事も考えて生活しているのです！

みくびるなよっ！！！（笑）

マジちょっと見直したべ？

^^  
^^  
イ  
) ^ . ^  
(

## 安心カンニング術

今日、夜が明けたらテストがスタートします。 (当時の話です)

なので童君が考えた、

おそらくバレ無いであるうカンニング法をご紹介したいと思うのでございます。

そうとうばかばかしいし、やる人いないと思いますが書きます。

どういう方法かといいますと、

ポケットティッシュを使う方法でございます。

まず、ポケットティッシュの中身を全て取り出し、

それをカンニングペーパーとして色々書き込みます。

書きにくいかと思いますが頑張りましょう。

そして、それを元に戻します。

そして、それをポケットにしよばせて試験会場へ向かきましょう。

そして、試験中にカンニングしたいときは、

ポケットからポケットティッシュを取り出し、

鼻をかむふりをしてカンペを読むのです。

読んだ後はホントに鼻をかんでしまえば証拠隠滅となります。

まさか先生も鼻かんだティッシュを広げてまで追求しないでしよう。

完全犯罪ですな（、）

：注意事項：

教室に入った時から微妙に鼻をグズグズしている感じを出しておきましょう。ただし、「オレ風邪気味やねん。」とか言うのは白々しいのでやめておきましょう。

カンペを見る時は一応先生がこっちを向いていないことを確認しましょう。自分の横を通り過ぎて前に進んでいる時あたりが狙い目です。

ちなみに童君はカンニングなんかしません。

もちろんこの方法も試したことはございません。

もし本当に実行した人は感想を添えてお中元を贈ってください。

以上の事を守っておいしい夏野菜をいただきますしょう！

童君はカンニングと戦争に反対です。

## HERO

HEROという映画をご存知だろうか？

キムタクの出ていたドラマではない。

もちろん童君は見てもいない。

HEROとはどういう映画かというところ、

中国の話で秦の始皇帝を倒そうとする男に話なのだ。

秦の始皇帝は誰も自分の100歩以内には近寄らせなかった。

しかし、自分の命を狙っている刺客を倒したものには褒美とともに自分の近くによることを許したのだ。

確か3人くらい刺客がいて、3人倒すと10歩の距離まで近づくとができる設定だったはずだ。

主人公はそこに目をつけるわけですね！！！！！

10歩の間合いまで近づけば確実にしとめる事ができる技をあみ出すわけですね！！！！

そして、刺客たちのところに行つて説得するわけです。

自分が君たちを倒して始皇帝に10歩の距離まで近づければ確実にしとめて見せると。

そして刺客たちは納得して倒されていくわけです。

そしていよいよ主人公が始皇帝に10歩まで近づいたとき！

ネタばらしをするわけですね！！！！

ここがマジアツい！！！！！！！！

ここがマジつける!!!!!!

童君は映画館で見て、声を出して笑いましたもん。

主人公（以下：主）「私は相手に10歩まで近づければ確実にしとめることができる技をあみ出しました。」

始皇帝（以下：始）「ふむ・・・、して、その技の名は？」



ありえねー……!!!!

そのままかよー……!!!!

えー……!!!!

ひねりねえ~~~~~!!!!!!

まあそこまでは100歩譲って技の名前をそう付けてしまったのはいいとしましょ。

しかし!!!!!!

あるところか始皇帝はこう言い放ちます!!!!!!

始「うむっ、まじやんやん名じゅー」



まあこんなバカな始皇帝でも対策はとってあり、

主人公は始皇帝を倒せず殺されてしまっんですよね。

いやあ、

突っ込みどころは多いし、

映像はきれいだし、

凄いいい映画だよ！！！！！

2003年公開の映画で、もうとっくにDVDにもなってるし、TVでも放送してたので、

是非見てみてくださいさね！……！！

さあ〜て、今日は夢の中で

江守徹フェスのT・シャツ作らなきゃ

オレだけ知らない物語

フツと気がついて、

アツと思つて、

おゝゝ！！！っと思つんだけど、

すぐにハツと気がついて、

恥ずかしくなっちゃうの。

・・・わかんない？

だからさ、

あることにフツと気がついて、

何だそうだったのかと一人で感心して、

「わしゃ天才か?! わしゃ天才か?!」

って三回くらい思うんだけど、

次の瞬間には、

「んっ、これってもしかして常識か? 知らなかったのってボクだけ? 危ない危ない(汗) 偉そうに人に自慢しなくてよかった・・・。」

って思っちゃつような状況ですよ！

まだわからないんですか？

では、童君が実際に勝手に体験した事例でご説明いたしましょう。

中2のときくらいかな。

童君はゲームをやっております。

そしてコントローラーを見て思いました。

「Lボタン・Rボタン？何なんだろうっ？」

・・・

・・・

・・・

「……………はっ！……………もしかして、レフトとライトの意味なんじゃないっ？……………」

・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・

「ヤブくえ……。凄いと気づいちゃったよ……。こねは皆……」

・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・

「……………うガハア!!?!?!?!これってもしかして常識?もし  
かして、皆もつとつくに知ってんじゃない?」

それを今まで知らずに過ごしてきたなんて…………。

恥ずっっっ!!!!!!!!!!( # # )

調子こいて皆に言わなくてよかったと心底思いました。

まだありますよ

これはついこの間ですね。

数字の表示って桁が上がっていくと、

「」が付くじゃないですか？

例えば

1 0 0 0 0 0 0 0 0 0

で、これが何で三桁と付くのかって思ったわけです。

そしたらハッと気が付いてしまったんですね！

「ハッ！...！もしかしてアレじゃね？」

「英語だと、この区切りごとに単位があるんじゃない？」

「最初のコンマでサウザンド。二個目でミリオン。三個目でビリオン...!!」

「そうだよ！後はそれにハンドレットまでの桁を継ぎ足して言っていけばいいんだー！！」

「……………フッフ。これは凄いことに気が付いてしまった……………こりゃ凄いな。フッフ……………」

と一人でほくそ笑んでいました。

しかしすぐにやな予感が童君を襲いました！

「アツツツ！……………こりゃきつと常識だ……………」

「今まで知らなかったのは童君だけ……………」



わかる？

まあわかんなくてもいいけどね。

童君は明日からも一人で恥ずかしがりながら生きていきます。

勿論タイトルはあれですよ！化物語の「君の知らない物語」からのパロディですよ！

伝わったかどうかなんてたいしたもんだいじゃねえやい。

## 無駄な考えすぎ

童君は考えなくてもいいことまで考えます。

そうです、自動車のナンバーの事をです。

例えば、

「5555」

の車があったとしますよね。

そういうのを見たら、

「あつ、コイツ、車買うときナンバーの指定しやがったな。」

と考えます。

でもこんなのは誰でも思いつくことですよね？

思わない？

知らんけど……。

人の心は読めないしや。

童君は他にも考えます。

ナンバーが

「5556」

の車を見たら、

「あっ、コイツ、『5555』にしようと思ったけど、もうすでに使われてたから妥協してこのナンバーにしたんだな。フッフ。」

とか勝手な想像をしています。

童君の想像はまだ止まらないのです。

「・614」とか「1102」とかだったりすると、

「あっ、コイツの誕生日は6月14日（11月2日）だな。わかりやすくしようと思いやがって。フッフ」

とか勝手に想像します。

ここまででは昏やるはず、思はず。

こっからです

本番です。

これらを組み合わせた話です。

誕生日をナンバーにしている人は結構いると思います。

父・ケンイチもそうです。

そして、童君も自分で車を買ったらそうするだろうと思います。

そのときの心配をしているんです！！！

童君の誕生日は1月24日です。

ナンバーにすると

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

となります。

「・124」

これを童君と同じような考えの人が見たらどう思うのでしょうか？

きつとこの思うはずです。

「おっ、コイツ、『1・2・3』の並びにしようと思ったけど、もう使われてたから妥協したんだな。へへへ。」

と思うに違いありません！！！

でも実際は違っただ！と

これは誕生日だからそうしてるんだ！と

別に妥協しているわけではないんだ！と

声を大にしてその人には伝えたい！！！！

まっ、車もないしそんなこと考える人もあんましないだろうから別にいいけど、

へんな誤解を受けるのはやっぱりイヤなのです。

皆さん車のナンバーは温かい眼で見守りましょう

## プラクティカル・ジョーク

今日は童君が考えたプラクティカル・ジョークをご紹介します。

プラクティカル・ジョークが何の事だかわからない人は、

江戸川乱歩の「ペテン師と空気男」を読んでください。

簡単に言えばちよつとしたいたずらの事です。

小説内でのジョークを少し紹介すると、

ある喫茶店に入って行って、2人の男が席に座らずに、壁を調べたりしながら、

「ん〜と、ここがトイレの入り口になるわけだな？」

「そうですね。図面だとそうなってますね。」

とか、いかにも工事業者的な感じのやり取りをするわけです。

それを見て、店の人が

「あんだ達何やってんだ？」

と聞くわけです。

そしたら2人は、

「私達は依頼されたことをやってるだけだから詳しいことは知らないよ。後から来る責任者に聞いてくれ。」

とか言い、もう1人が

「おい、そろそろ向こうに機材が運ばれてくるはずだ。取りに行こう。」

とが言って、店を出て行くわけです。

もちろん業者も責任者もやっては来ないわけです。

店の人は今のはなんだったのだろうか？

と、ポカンとするしかありません。

それを店を出てから想像して、ハハハと笑うわけです。

このような誰にも迷惑をかけないでやるちょっとしたいたいたずらを童  
君も考えてみました。

例えば、地下鉄に乗るときのホームへ下りる階段で、

後ろに人がいることを確認して、

「あっ、やべえっ!!!」

と言って、走って階段を駆け下ります。

そうすると、後ろの人もつられて

「あっ、もう来たのかな？急がなきゃ！」

と行って、走り出すわけです。

しかし、実際に電車は来ていません。

相手は思います

「アレッ？」

ハハハハハ（笑）

ひっかかった様子を物陰から観察して楽しみましょう！

もう一つはこの夏オススメです

怪談物です。

まず誰か知り合いの小さい男の子を用意します。

出来れば色白の子が望ましいです。

あと、痩せていてあまり健康そうじゃない子ならもっといういです。

その子に毎日同じお店（店内が見渡せる小さい八百屋などがベスト）に通わせて、毎日ちよつとずつ店の中をウロウロさせます。

そして、出来れば同じ商品を毎日見つめさせましょう。

その時毎日同じ服装をさせましょう。

出来ればちょっと古ぼけた、お下がりの服などがベストです。

何日かすれば店のおじさんは怪しみます。

「アレ？何かこの子毎日来てウロウロしてるぞ。それに毎日同じ服だ。なんか変だぞ……。」

と考えます。普通の人間なら考えます。

そして、おじさんが話しかけてきたら、ほぼ作戦成功です！

「坊や、毎日来てるけど何してるんだい？何か欲しいものもあるのかい？」

そしたら男の子にはこう言ってもらいましょう。

「……、おじさん僕の事が見えるの？」

愉快) . . . . . (痛快) . . . . . (爽快) . . . . . ( )  
愉快) . . . . . ! ! ! ! !

決まった————!!!!

って感じですよ。

「……、おじさん僕の事が見えるの？」

って言った後は、

「えっ……、」

っとおじさんが動揺してる隙に、店から逃げましょう。

おじさんに話しかけられても、無視を決め込みましょう。

出来れば近くの角を曲がったところに車を用意しておいて、

男の子が逃げてきたら車に乗せて、

おじさんが男の子が消えたと錯覚するよつに逃げましょう。

後は、おじさんのその後を想像して笑いましょう！

仮におじさんが

「あれは幽霊だ！」

と思わなかったとしても、問題ありません。

あくまでジョークですから

左利き差別

人種だとか

国籍だとか

宗教だとか

そんな難しいことは知ったこっちゃない。

『立派な政治家の人がちゃんとやってくれるだろう』

それよりも童君が腹立つのは

左利きの事を

「左ぎつちよ」

もしくは

「ぎつちよ」

っていう奴だ！

こついつ事を言つのは

大体年配の人だ。

いったいどういつ教育を受けてきたんだか、それを当たり前のように使ってくる。

自分が左利きなので言われるたびになんか腹が立つ。

右利きが圧倒的に多いからって左利きをのけ者に行っているような、左利きは出来損ないなんだといっているような、そんな気がして無性に腹が立つ。

そもそも音の響きがよくない。

「ぎっちょ」

ってなんかイヤだ。

そもそも「ぎ」はどこから来たのかわからない。

「左利き」という言葉のどこにも「ぎ」なんて入っていないのだ。

むしろ「右利き」の方が「ぎ」が入ってるんだから「ぎっちょ」と呼ばれてしかるべきだと思っ。

「ぎっちょ」って言葉を使ってる奴ら！マジ調子に乗るな！



## お弁当箱の歌

タイトルは多分「お弁当箱の歌」かと思うんだけど、

あの「これくらいいの、おべんとぼっ」ってやつ。

あの曲のお弁当地味すぎじゃね?! (笑)

言われて初めて「そうだー!」って気付いたわ。

なんか糖尿病患者のお弁当みたいじゃん中身。

子供の歌のはずなのに子供向けの物が全然入って無いじゃん?

まず、おにぎり。

『刻みしょうがにごま塩振って』ですよ!

地味っ！！！

マルミヤのCMに比べて地味すぎね。

そしておかずのラインナップ。

『にんじんさん』

『じゃぶじゃぶ』

『あなのあいたれんくんさん』

ここまで一個もフックがねえよ！！！！

全部地味だよ！！！！

せめて茶系の野菜は一つにして欲しいね（^^）；

ごぼつとれんくんをセットで入れないで欲しいね。

どっちかでお願いしたい。

ちよいとした内弁慶だったら母親にキレる可能性があるよ？（笑）

ここまででは地味さ。

子供だって相当腹には据えかねてるよ。

でもまだある！

メインディッシュが残ってる！

ハンバーグ来い！

ハンバーグ！

せめてからあげ来い！

からあげ！

(こどもは祈る訳ですよ)

すると！

『すじ〜のおつた、ふ〜〜〜き！』

っざけんな！ですよ（笑）

子供キレるね（笑）

最後の最後まで地味かよ！ってね。

子供も学校でからかわれるよね。

ジジイの弁当とか言われるよ。

農作業か！みたいな突っ込みされるよ。（そのガキ突っ込みレベル高いわ！）

それになにかムカつくって、この母親一回ためてから言っしね！

イメージとしては、

後ろで隠しといて、

「ぶ~~~~」でためて、

「き！」でバツと前に出す感じ（笑）

ムカつくね。

その後に喜びの待って無いためにはムカつくね。

ふきってためちやダメだね。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1659o/>

---

閑話及第点

2010年10月23日12時13分発行